

平成29年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	消防本部
消防長	村上 和則
理事名	笹野 光則（大規模特異災害担当）

【基本姿勢】

火災、救急など日常的に発生する災害のほか、昨年甚大な被害をもたらした熊本地震や、今後発生が懸念される南海トラフ大地震等の大規模災害に備え、消防に対する市民ニーズはますます高まっています。そのような状況の中、消防本部が取り組む施策・事業は、「災害に強く安全なまちづくり」に不可欠なものとして、これまで以上に推進していく必要があります。

消防本部では、各施策を進めるにあたり、中・長期的な目標を定め、より具体的で実効性のある事業計画を策定し、消防力の向上と市民から信頼される消防体制の構築に努めます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	北消防署再整備	A
2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進	A
3	消防・防災体制の充実強化	A
4	救急救命体制の充実強化	A
5	救助体制の充実強化	A
6	消防通信指令業務の共同運用	A

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 1	北消防署再整備
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模災害時に重要な活動拠点となる消防庁舎の再整備を推進します。
---------------------	----------------------------------

活動目標	具体的な取組実績
庁舎の老朽化及び耐震化への早急な対応を踏まえ、北消防署の建替えを推進します。	北消防署再整備事業基本計画を策定するとともに、北部消防庁舎等複合施設について関係部局と協議・検討をしました。
北消防署の移転建替えに伴い(仮称)北庁舎の整備を踏まえ、施設の複合化・集約化などを検討します。	北部消防庁舎等複合施設建設を踏まえ、市内消防力の強化を視野に入れた既存消防施設との統廃合を検討するとともに、他機能施設との複合化について関係部局と協議・検討しました。

達成目標	達成状況	達成度
北消防署の移転建替えに伴い(仮称)北庁舎の整備を踏まえ、基本構想・基本設計等の概算費用を算出します。	北部消防庁舎等複合施設建設について、関係部局と協議を重ね、基本構想・基本設計等の概算費用を算出しました。	A 達成
北消防署の移転建替えに伴い(仮称)北庁舎の整備を踏まえ、整備スケジュールを具体的に検討します。	北消防署再整備事業基本計画の中で、整備スケジュール案を示しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>北消防署は老朽化のほか、庁舎の耐震性が確保されておらず、早急な再整備が必要です。今年度の取組では、北消防署再整備事業基本計画を策定したほか、北部消防庁舎等複合施設建設を踏まえ、既存消防施設との統廃合等を検討するとともに、他機能施設との複合化について関係部局と協議・検討をしました。また、今後の取組として、市北部の災害活動拠点施設として効率的で迅速な災害現場活動を行えるよう、施設機能が充実するよう検討し、市内消防力の強化を目指します。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 2	防火意識の普及啓発及び火災予防の推進
--------	--------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	火災予防等を推進し、火災の減少及び被害の軽減を目指します。
---------------------	-------------------------------

活動目標
住宅防火訪問等により、火災予防意識の高揚を図り、放火防止対策や住宅防火対策を推進します。
防火対象物、危険物施設及び高圧ガス施設等への査察により、事故防止の徹底を図ります。

具体的な取組実績
春、秋の火災予防週間中には、住宅防火訪問として各消防署から市内住戸を訪問し、放火防止対策や住宅防火対策の普及活動を実施し、住宅用火災警報器の設置促進にも努めました。また、同週間中に市役所1階において消防フェアを開催し、市内小中学校から募集した防火図画、防火標語を展示するなど、火災予防を広く訴えました。消防音楽隊の演奏会においては、観客に対し火災予防広報を実施しました。防火・防災講演会及び危険物安全講演会を実施し、市民に対し広く防火防災意識の普及啓発活動を実施しました。
消防署においては、防火対象物及び危険物施設への定期的な査察を実施しました。また、消防本部では高圧ガス・液化石油ガス・火薬類施設・危険物施設への査察を実施し、適正な是正指導を図ることにより、事故防止に努めました。

達成目標
住宅用火災警報器の設置等を推進し、住宅火災による人的、物的被害を軽減します。
査察における是正指導のほか、防火管理者講習会等により、自主的な防火管理体制等を確立させます。

達成状況	達成度
住宅用火災警報器の設置率は、これまでの調査により、着実に普及推進されています。また、消防音楽隊の演奏会や、防火・防災に関する講演会、火災予防週間における各行事の実施により多くの市民に対し、防火PRができました。	A 達成
平成29年度中に防火管理者講習会を消防本部において5回実施し、受講者数は290名でした。ここ数年の受講者数は約300名程度で推移しており、市民による自主防火管理体制が着実に確立されています。	A 達成

総合評価・総括
春、秋の全国火災予防週間実施に伴う一般市民に対する防火訪問の実施や、市役所における消防フェアの実施、防火・防災講演会や危険物安全講演会、消防音楽隊演奏会における火災予防広報を実施することで市民に対し広く火災予防をPRできました。その結果、昨年の火災件数は58件と、ここ数年と同様に少ない件数を維持しています。今後も火災予防を推進し、火災件数を0件に近づけるよう改善していく必要があります。

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 3	消防・防災体制の充実強化
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地震等の大規模災害に対する消防・防災体制強化に努め、災害に強く安全なまちづくりを目指します。
---------------------	--

活動目標
地域の自主消火組織及び事業所の自衛消防隊に対し訓練等を通じた育成強化を図ります。
地域実状に応じた可搬式小型動力ポンプや消防水利等を適正に配置します。

具体的な取組実績
自主消火組織及び事業所に対して地域における消防訓練をはじめ、関連行事への参加を要請しました。
市内1地区の公園へ耐震性防火水槽（100 t）を設置し、可搬式小型動力ポンプを配備しました。

達成目標
自主消火組織や自衛消防組織との連携を強化し、消防・防災における地域力の向上に努めます。
可搬式小型動力ポンプ等の計画的整備により、地域の初期消防活動体制の強化に努めます。

達成状況	達成度
地域防災訓練・消防出初式等への参加を要請し、職員との連携及び消火・防災活動を強化することができました。	A 達成
山田東2丁目3番山田公園に耐震性防火水槽（100 t）を設置するとともに、可搬式小型動力ポンプを配備し、大規模災害時における消防力を向上することができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>地域の実状に応じた可搬式小型動力ポンプ及び消防水利を適正に配置し、消防・防災体制の強化が図れました。自主消火組織・自衛消防隊については、可搬式小型動力ポンプ等の取扱い訓練をはじめ、防災訓練などに積極的に参加していただくことで、消火・防災力の向上に繋げることができました。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 4	救急救命体制の充実強化
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	救急隊の増隊も含めた救急救命体制の充実強化や応急手当普及啓発を推進し、救命率の向上を図ります。
---------------------	---

活動目標
救急業務の高度化に伴う高度救命資器材の整備運用及び救急関連資格取得に伴う教育機関等への職員派遣を推進します。
AEDの使用も含めた救急講習を計画的に実施し、応急手当普及啓発活動を展開します。

具体的な取組実績
平成30年度に運用開始する救急隊（9隊目）の準備をはじめ、高度救命資器材の強化を実施しました。救急救命士の養成人員を増員した他、救急隊の現場活動等の支援を精力的に行い、救急活動の強化を図りました。
応急手当普及啓発活動の推進による、応急手当講習受講者数の増加を図りました。

達成目標
救命率の向上に繋げるため、高度救命資器材の充実を推進し、医療機関との連携を充実強化し、救急隊員の資質向上を図ります。
日常生活の中で急病人に遭遇した場合や災害時に対応できるよう、住民一人ひとりの自主救護能力の向上を図ります。

達成状況	達成度
救急隊員の資質の向上や消防隊の救急隊支援、医療機関との連携などの強化により、全国平均の救命率が13.3%のところ、本市では20.6%と高水準を保っています。	A 達成
平成29年の救急講習受講者数は10,123人と初めて1万人を超えました。	A 達成

総合評価・総括
<p>救急出動件数は年々増加していますが、救急隊の増隊、救急隊員への教育の強化、消防隊との連携活動訓練の実施、救急隊の実践訓練の開催、医療機関との連携などの強化により、高い救命率を維持しています。また、応急手当普及啓発活動の強化を図り、救急講習受講者数は10,123人と初めて1万人を超えました。住民による自主救護意識も高まり、住民によるAED使用も増加してきています。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 5	救助体制の充実強化
--------	-----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	特殊災害への対応能力の向上を推進します。
---------------------	----------------------

活動目標
災害医療機関（D-MAT）の研修参加や合同訓練を実施し、救助体制の高度化を図ります。
高度救助資機材を活用した訓練を実施し、災害対応能力の向上を図ります。

具体的な取組実績
災害医療機関（D-MAT）を含めた合同訓練を実施し、救助体制の高度化に努めました。
高度救助資機材を活用した訓練を継続的に実施し、災害対応能力の向上に努めました。

達成目標
災害医療機関（D-MAT）との相互連携を強化し、高度救助隊員の能力向上を図ります。
高度救助資機材の取扱いに習熟し、万全な救助体制の構築を図ります。

達成状況	達成度
災害医療機関（D-MAT）を含めた合同訓練を実施し、災害関係機関と相互連携の強化に努め、高度救助隊員の能力向上を図りました。	A 達成
専門的な教育機関の研修に参加し、資機材の習熟に努めました。また、高度救助資機材を活用した訓練を継続的に実施し、万全な救助体制の構築を図りました。	A 達成

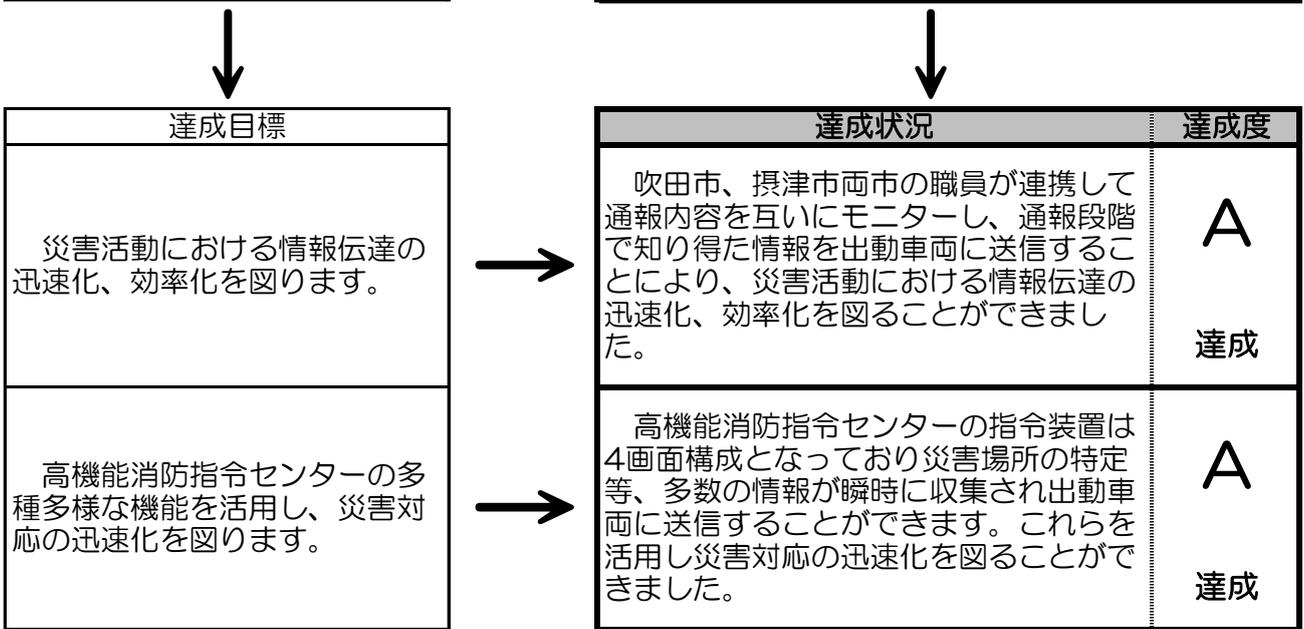
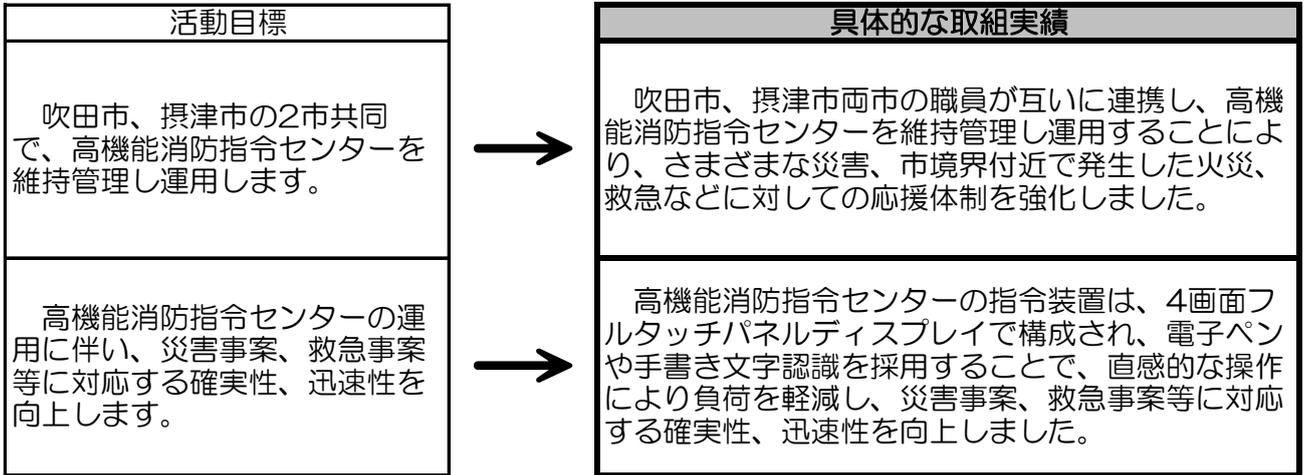
総合評価・総括
<p>特殊災害への対応能力を向上させるため、専門的な教育機関の研修への参加や高度救助資機材を活用した訓練を実施し、高度救助隊員の能力向上に努めました。また、災害医療機関との合同訓練を実施するなど、相互連携の強化に努めました。引き続き救急隊や災害医療機関との合同訓練を通じて万全な救助体制の構築を図ります。</p>

部(局)名	消防本部
-------	------

重点課題 6 消防通信指令業務の共同運用

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) 消防通信指令施設を摂津市と共同で運用することで、消防力の効果的運用による市民サービスの向上を目指します。



総合評価・総括

高機能消防指令センターを吹田市、摂津市で共同運用することにより、今後もさらなる消防力の効果的運用及び市民サービスの向上を図り、費用面での節減効果も目指します。
また、119番通報の内容に応じて出動車両選別、出動指令を行い、出動隊には現場活動に対する支援情報を送るとともに関係機関への連絡や一時的な報道対応も適切に実施します。